



最上エコボリスの実現  
=豊かな自然 輝くもがみ=

# 小国川だより

最上小国川治水対策について、お知らせします。

## 小さなダム・大きな仕事 最上小国川ダム

第38号

平成24年8月9日発行

山形県 最上総合支庁  
建設部 河川砂防課

### 赤倉温泉「女将の会」など県知事へダムの早期完成を要望

7月13日、地元の代表者たちが吉村県知事へ最上小国川ダムの早期完成を要望しました。

要望したのは、最上町の高橋町長をはじめ、菅町議会議員、赤倉温泉の旅館などの女将さんからなる「女将の会」、地区長、小国川漁協の総代など地元を代表する総勢20名が、地元選出の伊藤重成県議会議員同席のもと知事室を訪れました。

はじめに、高橋町長が「ダムの早期完成について、地域活性化の支援について、内水対策の推進について」、赤倉温泉の観光PRパネルを示しながら、吉村県知事へ特段の事業推進を要請するとともに、要望書を提出しました。

また、「女将の会」代表が、「7月3日の九州や中国地方の大雨による被害が他人事ではなく、赤倉温泉でも7月5日の雨で夜も心配で寝付けませんでした。近くの肘折温泉の大規模地すべりに迅速な対応をされた県知事に心強く感



知事室にて；地元代表者一同と

じました。赤倉温泉の安全・安心の確保のため、一日も早いダム完成をお願いします。」などをしたためたお手紙を読み上げながら吉村県知事へ手渡しました。

さらに、下山最上町消防団長が「5月3～4日にかけて出水があり、夜中の3時に呼び出された。はん濫危険水位まであと30cmまで水位が上昇した。ダムの早期完成をお願いしたい。」などと、防災に直接たずさわる担当として、切実な思いをうたえました。

要望書などを受け取った吉村県知事は、「ご要望をしっかりと受け止めさせていただきます。今後も、地域に住む方々の安全・安心を一日も早く確保できるよう、地域の方々のご理解とご協力をいただきながら最上小国川ダムの建設を進める所存です。」との回答を述べました。

最後に、一堂に会して写真を撮影しました。



「女将の会」からのお手紙を受取る吉村県知事

### 最上小国川穴あきダム建設促進協議会総会開催

7月5日、赤倉温泉あべ旅館にて、最上小国川穴あきダム建設促進協議会の第14回の総会が開催されました。

総会では、会長の高橋最上町長の挨拶の後、来賓祝辞、事業経緯と概要の説明、議事が行われました。

議事では、流域活性化研究会の取り組み状況の報告や安全で安心して暮らせる地域づくりのための環境に配慮した最上小国川穴あきダム建設事業の推進について、国、県及び関係機関へ強く要望していくことを満場一致で決議するなど盛会のなか閉会しました。



会場；赤倉温泉あべ旅館

# 第10回最上小国川流域環境保全協議会開催

6月27日(水)午後1時30分から、新庄市民プラザにおいて、第10回最上小国川流域環境保全協議会を開催しました。

今回の協議会には11名の委員の方にご出席いただき、「平成23年度調査の報告と平成24年度調査の中間報告」、「今後の調査と工事予定」等についてご審議いただきました。

なお、これまで河川利用者代表として委員を務めていただいた大場利秋委員が都合により退任されましたので、後任として大谷築代表の伊藤一雄委員が、さらに、これまで最上町区長代表として委員を務めていただいた小林仁委員が定期異動により退任されましたので、後任として同じく最上町区長連絡協議会長の菊池義明委員が新たに就任されました。

## 【協議内容】

- 1) 第9回協議会における指導事項と対応について
- 2) 平成23年度環境影響調査の報告及び平成24年度環境影響調査の中間報告について
  - 2-1) 猛禽類調査
  - 2-2) ヤマセミ調査
  - 2-3) マグソクワガタ調査
- 3) 今後の環境調査及び工事予定について



会場：新庄市民プラザ



伊藤 委員



菊池 委員

## 各委員からの主な意見

2) 平成23年度環境影響調査の報告及び平成24年度環境影響調査の中間報告について

### 2-1) 猛禽類（もうきんるい）の調査

行動確認の調査データが十分揃っており、調査方法には問題ない。

調査結果から、今年度の工事が猛禽類・ヤマセミに与える影響は問題視されるものではない。

### 2-2) ヤマセミ調査

巣穴4箇所ともダム湛水区域から大きく離れているため、工事の影響を心配する必要性は少ない。

### 2-3) マグソクワガタ調査

多くの個体が確認されているため、産地としては多いところと思われ、湛水区域外でも結構な数が確認されたので、湛水後、湛水区域内へ戻ってくる可能性が高い。

### 3) 今後の環境調査及び工事予定について

工事に伴い、河川の濁りが懸念されるため、工事前からポイントを設けて濁りの状況をモニタリングするとともに、濁りが出ないように注意が必要である。モニタリングについて、濁度計の他に降雨時に現場近くで確認できるような方法の検討が必要である。

## 今後の対応方針

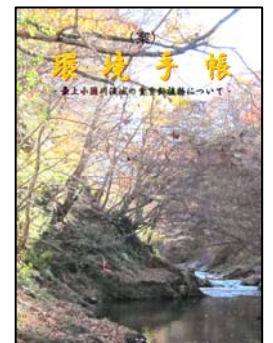
今回の最上小国川流域環境保全協議会でいただいた意見や指導を踏まえて対応していきます。

なお、工事施工に際しては、貴重動植物への保全措置や配慮事項を記した次の2種類の「環境手帳」を工事関係者へ配布し、きめ細かな環境保全に努めていきます。

1. 現場事務所備付版（詳細版）
2. 工事関係者用ポケット版（概要版）

※協議会の詳細についてはHPを参照してください。

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/mogami/314074/kannkyou.html>



発行：山形県 最上総合支庁 建設部 河川砂防課 最上小国川ダム建設室 高橋・庄司  
〒996-0002 山形県新庄市金沢字大道上 2034  
お問合せ先 電話 0233-29-1407 Email - 【前画面を参考にしてください】

バックナンバーは県HPからダウンロードできます。アドレスは下記のとおりです。

[http://www.pref.yamagata.jp/regional/mogami\\_bo/news/news/7314074ogunigawa\\_news.html](http://www.pref.yamagata.jp/regional/mogami_bo/news/news/7314074ogunigawa_news.html)